

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-106	高等学校	地理歴史科	地図	1~3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	地図-313	地歴高等地図 現代世界とその歴史的背景		

## 1. 編修の基本方針

- 1) 幅広い知識と教養を身に付け、空間認識をはぐくむ地図帳
- 2) 個人の価値を尊重し、職業及び生活との関連を重視した地図帳
- 3) 主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う地図帳
- 4) 自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う地図帳
- 5) 伝統と文化、他国を尊重し、我が国と郷土を愛する態度、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養える地図帳

## 教育基本法第2条への対応

**第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。**

→ 「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養うこと」について、本書では、日本および世界の諸地域の自然・社会的要素—地形や気候、歴史、民族、宗教、産業などを捉え、日本の国土理解、世界の諸地域への理解を深めていくことが重要と捉えた。

- ① 世界・日本の諸地域に関する幅広い知識と教養を身に付けられるよう、美しい地図と、分かりやすい資料を豊富に掲載した。
- ・世界の地図では、基本となる地図で国名や基礎的な地名、自然地域名称などをおさえ、拡大図で詳細な地名や自然地域名称を確認できるよう配慮した。
  - ・日本の地図では、基本となる地図で日本の位置や47都道府県、主要な都市などをおさえ、拡大図で各地方の詳細な地名や自然地域名称を確認できるよう配慮した。
  - ・現在または歴史上重要な都市名・地名は可能な限り取り上げ、授業以外においても幅広い教養を身に付けられるよう配慮した。
  - ・歴史に関わる主題図や年表を数多く取り上げ、歴史事象や先人の努力などを、知識や教養として身に付けられるよう工夫した。→P.49 イギリス産業革命の資料図 など
  - ・日本の国土の行政区分の変遷、交通・産業の変化など、幅広い知識と教養を身に付けるため、これらの内容を系統的におさえられる資料図を豊富に掲載した。→P.83-84, 131-136 日本の資料図

**第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。**

→ 「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うこと」について、本書では、どのような生徒でも等しく地図帳を使いこなしながら、その学びを通して、学力や創造力などを成長させていけることが重要と捉えた。

- ① 地図帳の活用を通して能力を伸ばしていけるよう配慮した。
- ・「やってみよう」を設け、問いを通じて地図を読み取る力が身に付くよう配慮した。
  - ・世界の地図には、国名や都市名、自然地域名称に欧文を並記することで、世界に対する知識や興味・関心を高め、将来海外でも活躍できる人材を育成できるよう配慮した。

- ② 誰にとっても、見やすい、分かりやすい地図帳を目指した。
- ・色覚に特性のある生徒にも地図や資料が読み取りやすいよう、地図ページ中の国名・都道府県名の赤字には、黒色で縁取りをした。また、着色凡例が多い地図には、似た色の識別がしやすくなるよう、格子模様や地紋を入れた。
- 「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」について、本書では、世界・日本各地に暮らす人々の営み、特に仕事に対する工夫、農林水産業や工業など社会を支える産業への理解を深め、生徒自身の勤労に対するイメージや意欲を高めることが重要と捉えた。
- ① 世界各地の人々の営みが地図から読み取れるよう工夫した。
- ・世界の地図では、土地利用表現の地図を多数掲載し、それぞれの地域で人々がどのように土地を利用して生活を営んでいるのかが分かるようにした。
- ② 日本各地の人々の営みが地図から読み取れるよう工夫した。
- ・日本の地図では、おもな都市の都市図を多数掲載し、それぞれの都市の土地利用の様子などから、人々の生活の営みが伝わるよう配慮した。
  - ・日本の産業に関する資料図を設け、関心をもてるようにした。→P.134 高度経済成長と現代の日本

### 第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

- 「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」について、本書では、世界・日本の現状や諸課題に目を向け、生徒自身が世界に暮らす人間の一人として考えていくことが重要と捉えた。
- ① 生徒自身が、世界・日本各地の現状や諸課題について学ぶ中で、社会の形成に参画するという意識をはぐくむことできるよう配慮した。
- ・「やってみよう」を設け、地図を通じて歴史的な視点から様々な課題に気づいたり考察したりできるよう配慮した。
  - ・高齢化問題、教育問題、環境問題、南北問題に関する統計など、現代世界が抱える諸課題を読み取れる資料を多数掲載し、これらの諸課題の背景などを考えられるようにした。→P.151-157 世界の国別統計、都道府県別統計

### 第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

- 「生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと」について、本書では、生命のかけがえのなさと、現在の地球の自然環境や環境問題を理解し、生命や自然環境の保全に寄与する態度を養うことが重要と捉えた。
- ① 災害から生命を守るという観点を重視し、地図帳で防災についても学べるように配慮した。
- ・歴史的な視点も交えながら、地震、火山噴火、風水害といった日本の自然災害を概観し、将来の防災への取り組みに役立てられるようにした。→P.136 日本の自然災害と防災
- ② かけがえのない自然環境の保全や環境問題に対する関心を高められるよう、環境に関する様々な資料を掲載した。
- ・世界・日本の地図中に、世界自然遺産や名勝などの特殊凡例を付し、環境への関心が高められるよう配慮した。
  - ・日本や世界の自然環境について、地形、気候、環境問題に関する資料を豊富に掲載した。→P.137-146, 149-158, 173-174

**第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。**

→「伝統と文化を尊重すること」について、本書では、日本ではぐくまれてきた伝統や文化および、それらを将来にわたって継承していくことの大切さを理解することが重要と捉えた。

- ① 先人によって育み、継承されてきた優れた伝統や文化を尊重し、次代へ引き継いでいくことの大切さが理解できるよう、記載内容や資料を工夫した。
- ・日本の伝統・文化を象徴する世界文化遺産を、日本の地図中でも特殊凡例にて掲載した。また、日本の伝統や文化をはぐくんできた歴史に関して地図で確認できるよう、史跡・戦跡や歴史的に重要な地名、伝統的工芸品なども特殊凡例で地図中に多数掲載した。

→「我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」について、本書では、郷土を愛したり、他国やそこに暮らす人々を尊重したりするためには、正しく幅広い国土理解と、世界の諸地域への理解が重要と捉えた。

- ① 正しい国土理解、世界の諸地域への理解に資する地図帳となるよう、世界・日本とも基礎的・基本的な内容をもれなくおさえ、分かりやすく表現した。
- ・日本の領土・領域や排他的経済水域について正しく学べるページを設けた。日本の東西南北端の写真や、日本固有の領土に関する資料図も配することで、近隣諸国の中での日本の位置や、領土の広がりなどが一層理解できるようにした。→P.85-86 日本の位置とまわりの国々
  - ・世界の言語や宗教、時差など、世界の文化を大観できる資料を掲載した。→P.145-146, 172 世界の基礎資料図

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本・世界の自然、産業、歴史など、様々な情報を地図上に幅広く取り上げ、空間認識をともなった幅広い知識や教養が身に付くように配慮した。(第1号)</li> <li>・現在または歴史上重要な都市名・地名を可能な限り取り上げ、授業以外においても幅広い知識や教養を身に付けられるよう配慮した。(第1号)</li> <li>・色覚に特性のある生徒にも地図や資料が読み取りやすいよう、地図ページ中の国名・都道府県名の赤字には、黒で縁取りをした。また、着色凡例が多い地図には、似た色の識別がしやすくなるよう、格子模様や地紋を入れた。(第2号)</li> </ul>	本書全体
世界の国々 (P.1-2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の全ての国の位置・国名・首都名などを端的に把握できるようにした。(第1号)</li> </ul>	P.1-2
世界の基本図・ 拡大図(P.5-82)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本図で国名や基礎的な地名、自然地域名称などをおさえ、拡大図でさらに詳細な地名や自然地域名称を確認できるよう配慮した。(第1号)</li> <li>・世界の地図では、土地利用表現の地図を多数掲載し、それぞれの地域で人々がどのように土地を利用して生活を営んでいるのかが分かるようにした。(第2号)</li> <li>・「やってみよう」を設け、地図を通じて歴史的な視点から様々な課題に気づいたり考察したりできるよう配慮した。(第3号)</li> <li>・世界自然遺産や名勝などの特殊凡例を付し、環境への関心が高められるように配慮した。(第4号)</li> <li>・世界文化遺産や史跡などの特殊凡例を付し、文化財への関心が高められるように配慮した。(第5号)</li> <li>・同縮尺・同緯度の日本図を随所に用意し、日本との位置関係や大きさを比べながら世界を学べるよう配慮した。(第5号)</li> </ul>	P.5-82 P.5-82 P.5-82 P.5-82 P.5-82 P.40 ほか 5箇所

世界の地域資料図 (P.5-82)	・歴史に関わる主題図や年表を数多く取り上げ、歴史事象や先人の努力などを、知識や教養として身に付けられるよう工夫した。(第1号)	P.5-82
日本の位置と まわりの国々 (P.85-86)	・日本の領土・領域や排他的経済水域について正しく学べるページを設けた。日本の東西南北端の写真や、日本固有の領土に関する資料図も配することで、近隣諸国の中での日本の位置や、領土の広がりなどが一層理解できるようにした。(第5号)	P.85-86
日本の基本図・ 拡大図・ 都市圏図・ 都市図(P.87-130)	・基本図で日本の位置や47都道府県、主要な都市などをおさえ、拡大図で各地方の詳細な地名や自然地域名称を確認できるよう配慮した。(第1号)	P.87-130
	・日本のおもな都市に関しては都市図を多く掲載し、それぞれの都市の土地利用の様子などから、人々の生活の営みが伝わるよう配慮した。(第2号)	P.87-130
	・「やってみよう」を設け、地図を通じて歴史的な視点から様々な課題に気づいたり考察したりできるように配慮した。(第3号)	P.87-130
	・世界自然遺産や名勝などの特殊凡例を付し、環境への関心が高められるように配慮した。(第4号)	P.87-130
	・日本の伝統や文化を育んできた歴史に関して地図で確認できるよう、世界文化遺産、史跡・戦跡や歴史的に重要な地名、伝統的工芸品なども特殊凡例で地図中に多く掲載した。(第5号)	P.87-130
日本の資料図 (P.83-84, 131-136)	・日本の国土の行政区分の変遷、交通・産業の変化など、幅広い知識と教養を身に付けるため、これらの内容を系統的におさえられる資料図を豊富に掲載した。(第1号)	P.83-84, 131-136
	・日本の産業に関する資料図を設け、関心をもてるようにした。(第2号)	P.134
	・歴史的な視点も交えながら、地震、火山噴火、風水害といった日本の自然災害を概観し、将来の防災への取り組みに役立てられるようにした。(第4号)	P.136
世界の基礎資料図 (P.137-146, 172)	・日本や世界の自然環境について、地形、気候、環境問題に関する資料を豊富に掲載した。(第4号)	P.137-146, 172
	・世界の言語や宗教、時差など、世界の文化を大観できる資料を掲載した。(第5号)	P.145-146, 172
統計資料・ さくいん (P.149-171)	・世界・日本とも統計資料を充実させることで、数字に裏付けられた世界・日本の姿、位置づけを理解できるようにした。(第1号)	P.149-158
	・高齢化問題、教育問題、環境問題、南北問題に関する統計など、現代世界が抱える諸課題を読み取れる資料を多く配し、これらの諸課題の背景などを考えられるようにした。(第3号)	P.151-157

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### 長期間の使用に耐えうる造本

高校卒業後の使用も視野に入れ、長期の使用に耐えられるよう、ノド部分を糸かがりした上で糊付けし、丈夫に製本した。

#### 環境問題・資源問題にも配慮し、「再生紙」と「植物油インキ」を使用

環境問題、資源問題について学習する生徒が使用する教材であることに配慮して、全ページにわたって再生紙と植物油インキを使用した。

#### 光の反射を抑えた用紙を使用

発色の良さを維持しながら、光の反射が少なく、書き込みがしやすい用紙に変更し、用紙の観点からも見やすさと使いやすさを追究した。

以上

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-106	高等学校	地理歴史科	地図	1～3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
46 帝国	地図-313	地歴高等地図 現代世界とその歴史的背景		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ■現代社会とその歴史的背景を捉えることができる地図帳

変化が著しい現代社会にあって、世界・日本各地の今の姿とその歴史を、現代の地図の上に歴史事象を重ねた基本図や歴史資料図からの確に捉えられるよう、以下の5つの特色をそなえた地図帳を編修した。

### 特色1 歴史事象を分かりやすく記載し、地理的空間の広がりや歴史の流れの関わりが理解できる地図帳

#### ① 地域ごとの特色が分かるよう創意工夫を重ねた美しい地図表現

- 基本となる地図の多くは、標高で配色した等高段彩表現を採用した。また、段彩に鮮やかな緑色を用い、明るく見やすい配色を心がけた。

例 世界 P.69-70 アメリカ合衆国中央部・東部 日本 P.113-114 関東地方

- 自然環境と歴史事象の相互関連が特に強い地域については、植生の違いが分かりやすいナチュラルカラーレイアウト表現を採用し、自然環境と歴史事象の因果関係を考えさせるようにした。

例 世界 P.31-32 オリエン特

#### ② 各地域・各都市で注目すべき年代が分かる「時代の色区分」の工夫

- 歴史地名や史跡・戦跡などを、世界の部では時代を4区分(6世紀以前：水色，7～15世紀：ピンク，16～18世紀：オレンジ，19世紀以降：紫)，日本の部では時代を3区分(平安時代以前：水色，鎌倉～江戸時代：ピンク，明治時代以降：紫)に色分けして図中で示すことにより、各地域・各都市で特に注目すべき年代に生徒が気づくよう工夫した。

例 世界 P.21-22 東南アジア 日本 P.93-94 九州北部

#### ③ 歴史事象を分かりやすく解説した「歴史地名解説」を多数掲載

- 基本図・拡大図中で歴史事象に関係する地名等に「歴史地名解説」を青字で付し、その地域の背景について理解を深められるようにした。

例 世界 P.53-54 イタリア半島・エーゲ海(P.53E4 サレルノ) 日本 P.123-124 東北地方(P.124B1 十三湊)

### 特色2 文化圏・交流圏・勢力圏の広がりが捉えられる図取りを追究した地図帳

#### ① 近年注目が集まる地域を見渡せる図取りを設置

- 例 世界 P.79-80 太平洋諸島

平成27(2015)年にアジア・太平洋戦争終結70年の節目の年を迎えるなど、関心が高まる太平洋諸島をテーマとし、北は満州と旧ソ連の国境、南は珊瑚海、東は真珠湾、西はインパールまでを見開きに収め、おもにアジア・太平洋戦争の学習に資するページを設けた。

特に「日本の委任統治領(1920年)」、「日本軍が進出した最大範囲(1942年)」、「おもな連合軍の反攻」などの要素を掲載することで、開戦の背景と戦局の変化を連続して学習できるページにした。

・例 **世界** P.31-32 オリエント

過激派組織 ISIL(「イスラーム国」)が勢力を強め、内戦が激化しているシリア・イラクを中心に、トルコ全域、地中海・カスピ海・紅海・ペルシア湾の一部を見開きに収めたページを設けた。

特に、古代文明・古代都市の位置や分布を、現在の植生や作物、油田などの資源分布と共に見ることで、古代文明・古代都市の形成・発展の要因を自然環境の観点からも考察したり、中東における紛争の背景を考えたりすることができるページにした。

② **地域間の結び付きが読み取れる図取りの地図を多数掲載**

・例 **世界** P.61-62 ロシア周辺

不凍港を求めたロシアの南下政策とカフカス地方への侵攻を捉えられる図取りの地図と歴史資料図を掲載した。

・例 **日本** P.101-102 京阪奈

琵琶湖や奈良から大阪湾までを捉えられる図取りにし、淀川・大和川による水運の歴史に焦点を当て、古代の宮都の変遷などもたどれるようにした。

**特色 3 AB 判のワイドな判型を生かして豊富な資料図をそなえた、歴史学習が深められる地図帳**

① **歴史学習で地図を見る糸口となる拡大図・分布図・年表などを特設「歴史をみる手がかり」で紹介**

・例 **世界** P. 45-46 ヨーロッパ中央部

神聖ローマ帝国の変遷図と年表を取り上げ、変遷図では帝国内の各領邦が現在のドイツなどにおいて州の元となっていること、年表では帝国の成立から消滅までの流れが分かるようにした。

・例 **日本** P.119-120 江戸

首都東京の礎となった近世の江戸の拡大図・分布図・年表を、政策・町づくり・流通に焦点を当て掲載した。明暦の大火での焼失地の地図に町火消などの分布を重ねた資料図、江戸詰藩士の行動をまとめた図表、日本橋周辺の河岸・市場・大店などの分布図などを掲載した。また、これらに関するできごとを年表で示し、幕政改革とも関連させることで、江戸のまちの発展を読み取れるようにした。

② **遺跡の分布や鉄道の延伸、防災など充実した日本の資料図** →P.131～136

・日本の資料図を古代・近世・近代・現代・自然・防災の順に構成した。

・特に近代・現代のページでは、日本の近代化と第二次世界大戦、高度経済成長と現代の日本に関する図を多数掲載した。また、防災のページでは、過去の風水害、南海トラフ～駿河トラフによる地震・津波など自然災害の資料のほか、防災の観点の資料も掲載するようにした。

③ **歴史統計にもアプローチした分かりやすい統計資料** →P.149～158

・カラー印刷で見やすい統計資料のページにした。

・1893年と1950年の人口も掲載した都道府県別統計、1890年の市町村制施行後のおもな都市の人口など、歴史統計も充実させた。

・高齢化問題(老年人口率)、教育問題(非識字率)、環境問題(二酸化炭素排出量、国土に占める森林割合)、南北問題(1人あたりの国内総所得)に関する各国統計など、地理や公民科の学習において必須の地球的課題に関する客観的なデータも掲載した。

#### ④ イメージが膨らむ様々な歴史写真を掲載

- ・現代にも残る歴史的景観や建造物の写真のほか、浮世絵などの歴史資料、歴史の舞台としての自然環境の写真などを多数掲載し、地図から読み取った地域のイメージを膨らませることができるよう工夫した。

**例** **世界**P.62 凍りつくネヴァ川 **日本**P.112 大井川の渡し

- ・特に世界遺産に認定されている建造物等の写真には、「世界遺産」のロゴマークを付して一目で分かるようにした。

**例** **世界**P.39 グレートジンバブエ遺跡 **日本**P.98 比叡山延暦寺

### 特色4 日本の国土とその変遷を分かりやすい地図で学べる地図帳

#### ① 日本の領土が正しく学べる地図を掲載 →P.85-86

- ・日本の領土や排他的経済水域などが学べるページを設け、日本の東西南北端、領土問題を抱える北方領土や竹島の位置などを的確に把握できるようにした。

#### ② 日本の国界・行政区分の変遷が分かる工夫 →P.83-84, 90-130

- ・P.83-84では、日本の国界・行政区分の変遷の地図を見開きで展開し、変遷表や年表と共に掲載することで、日本史の学習で登場する旧国名を現在の都道府県名などと比較しながら確認できるようにした。
- ・P.90から始まる日本の地図ページでは、日本の行政区分の元になった旧国界を黒の点線、旧国名を楕円で囲んで目立つように示し、現在の都道府県と簡単に対比できるようにした。

#### ③ 美しい鳥瞰表現の地域拡大図を多数掲載 →P.107-108, 111-112, 125-126

- ・特定の歴史事象に特化した地図では、土地の起伏など周囲の環境が立体的に分かる鳥瞰表現を採用し、歴史の舞台となった地域をイメージしやすくした。  
特にP.125-126では、東北の陸上交通の要である日光道中・奥州道中、海上交通の要である西廻り航路・東廻り航路を見渡せる図取りとしたことで、江戸時代の交通と現在の交通の比較をしやすくした。また、古代における朝廷の東北経営、中世における奥州藤原氏による支配なども関連して学習できるよう工夫した。

### 特色5 見やすさ・活用のしやすさを追究した地図帳

#### ① カラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすさを追究

- ・色覚に特性をもつ生徒でも色を判別して地図が読めるよう、色彩表現を工夫した。また、色彩だけでは判読が難しい場合は、模様を入れるなどして判別しやすい表現を追究した。

**例** **世界**P.9-10 中国要部

→土地利用・植生の凡例のうち、稲作地には格子模様、草地・牧草地には草の模様を入れた。

- ・基本図・拡大図では、赤字の国名や都道府県名を黒で縁取りしたり、道路を黒の二条線にしたりするなど、判読しやすい地図表現を追究した。

**例** **世界**P. 19-20 朝鮮半島 **日本**P. 95-96 中国・四国地方

#### ② 「歴史インデックス」を設けたもくじ →P.3-4

- ・もくじに加え、各ページで扱った歴史事象を地域別・時代順に並べた「世界史インデックス」・「日本史インデックス」を設け、世界史・日本史の学習で地図を活用しやすいよう工夫した。

### ③ 地図の読み取りをサポートする「やってみよう」を設置

- ・全編を通じて「やってみよう」を設置し、生徒自身が基本図や資料図から歴史事象を読み取れるよう配慮した。

**例** **世界** P. 72 アメリカの西部開拓に関する問い **日本** P. 129 アイヌ語起源の地名に関する問い

### ④ 地理の学習にも対応する基礎資料図 →P.137～148

- ・地形、集落、気候、言語、宗教、人口、環境問題について、それぞれのテーマから国や地域の特徴を読み取れる資料図を設け、地理学習に必須な基礎資料も充実させた。

### ⑤ 引きやすく見やすい、充実した さくいん →P.159～171

- ・「地名さくいん」は、文字の書体や色数などを工夫し、見やすさを追究した。世界の部の国名と日本の部の都道府県名は赤太字、世界の部の首都名と日本の部の都道府県庁所在地名は赤字にし、分かりやすくした。
- ・「地名さくいん」の世界・日本の部では、史跡・歴史的地名を青字、日本の部では旧国名を青字(濃)で示し、世界文化遺産や戦跡には記号を付すなど、歴史事象が探しやすくなるよう配慮した。また、随所に設置した「歴史をみる手がかり」で取り上げた歴史事象を探しやすくするため、「地名のさくいん」とは別に「歴史をみる手がかりさくいん」を設け、「さくいん」に占める歴史要素を充実させた。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
<b>世界史 B</b> …日常生活で用いられる世界の地図や国旗から、世界の歴史が捉えられることを理解する。	(1)ウ	世界の国々 (P.1-2)	
<b>地理 B</b> …世界の大陸や海の分布、我が国の国土や国々の位置関係、自然環境、諸地域の様子を大きく捉える。	(2)アウ(3)アイウ		
<b>世界史 B</b> …世界の多様な地域の形成、交流と再編、結合の歴史を、地理的条件と関連づけながら理解する。	(1)アイウ(2)アイウエ(3)アイウエ (4)アイウエオ (5)アイウエオ	世界の基本図・拡大図 (P.5-82)	
<b>日本史 B</b> …古代から現代までの日本の社会や文化の特色について、国際環境と関連づけて考察する。	(1)イウ(2)イウ(3)イウ (4)アイウ(5)イウ(6)アイ		
<b>地理 B</b> …現代世界の地理的事象の空間的な規則性を理解し、多様な諸地域を地誌的に考察する。	(1)アイ(2)アイウエ (3)アイウ		
<b>世界史 B</b> …世界の様々な地域の言語・民族・宗教の分布図、移民や国家形成に関わる資料図などから諸地域世界が形成された過程を把握する。	(1)アイウ (2)アイウエ (3)アエ (4)アイウエオ (5)アイウエオ	世界の地域資料図 (P.5-82)	
<b>日本史 B</b> …第一次・第二次世界大戦期の日本と世界の間関係を考察する。	(5)イウ		
<b>地理 B</b> …地理的事象の地域特殊性や他地域との比較による共通性を理解するとともに、地理的な見方・考え方を学ぶ。	(1)アイ(2)アイウエ (3)アイウ		
<b>日本史 B</b> …現代の日本を構成する領土について正しく理解する。	(6)ア	日本の位置とまわりの国々 (P.85-86)	
<b>地理 B</b> …我が国の国土の位置や領域、海流や海底地形などの自然環境について、正しく理解する。	(2)ア(3)ウ		

<b>日本史 B</b> …我が国の歴史を、地図上に示した戦跡・史跡、歴史的に重要な地名などから理解し、地理的条件と関連づけて総合的に考察する。	(1)イウ(2)イウ(3)イウ (4)アイウ(5)イウ(6)アイ	日本の基本図・ 拡大図・都市 圏図・都市図 (P.87-130)	
<b>地理 B</b> …自然環境や資源、産業、人口、都市・村落などに着目して国土の特色を考察し、我が国が抱える地理的な諸課題を探究する。	(1)アイ(3)ウ		
<b>日本史 B</b> …我が国の歴史の展開を諸資料に基づき考察し、史跡・特産物・鉄道などに着目して国土の歴史的特色を理解する。	(1)アイ(3)イウ (4)アウ(5)ウ(6)イ	日本の資料図 (P.83-84, 131-136)	
<b>地理 B</b> …自然環境や資源、産業、人口、都市・村落などに着目して国土の特色を考察し、我が国が抱える地理的な諸課題を探究する。	(1)アイ(3)ウ		
<b>世界史 B</b> …宗教や環境問題など、グローバル化した世界の課題を理解する。	(1)アウ(5)エオ	世界の基礎資料図 (P.137-146, 172)	
<b>地理 B</b> …世界の自然環境、都市・村落、宗教、人口などに関する諸事象を系統地理的に考察し、現代世界の諸課題を地球的視野から理解する。	(1)アイ (2)アウエ(3)アイウ		
<b>地理 B</b> …投影法による違いや、地図の目的や用途に応じた投影法を知り、地図の有用性に気づく。	(1)アイ(2)ア	地図投影法 (P.147)	
<b>世界史 B</b> …地図にみる世界の歴史の変遷や地球の歴史から、地理と歴史への関心を高め、世界史学習の意義を知る。	(1)ア	地図にみる 世界、 地球の歴史 (P.148)	
<b>地理 B</b> …様々な時代や種類の世界地図の読図、地図情報の地図化などを通し、各時代の人々の世界観を捉え、地図の有用性に気づく。	(1)アイ(2)ア		
<b>世界史 B</b> …地球世界の課題について、歴史的観点から探究する際に活用する。	(5)オ	統計資料 (P.149-158)	
<b>日本史 B</b> …世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて探究する際に活用する。	(6)ウ		
<b>地理 B</b> …地理的事象の基礎データを活用して、現代世界を系統地理的・地誌的に考察する。	(1)イ(2)アイウエ (3)アイウ		
<b>世界史 B</b> …自然環境と人類の関わりについて考察する。	(1)ア	世界の地形 (P.173-174)	
<b>地理 B</b> …世界の地形の分布や人間生活との関わりなどを考察する。	(2)ア(3)イ		

以上